

「イクメン」と聞くと特別なことをしなくてはいけない…と思いませんか？もともと子育てを前向きに楽しむ男性を指して生まれた言葉。子どもと何かをしたり、一緒に楽しんだりするのが第一歩です。

“ハラハラドキドキ”はパパの出番！  
子どもとワクワク一緒に楽しもう

今  
日  
か  
ら  
始  
め  
る



幼いときは「教えてもらいたい」のではなく「一緒にやりたい」「一緒に楽しみたい」もの。だから一緒に日常のいろんなことに取り組んでみましょう。ちょっとドキドキするようなスリルのあることにもチャレンジ。子どもの成長には、今できることより少し難しいことに取り組むことも必要です。時には失敗もしながら新しいことを学んでいく子どもたちの「見守り役」になりましょう。

### 1 えんぴつをナイフで削る

危ないことに挑戦し、どう扱うと危険かを知るのが大切です。



### 2 ちょっと高いところからジャンプ！

飛び降りても大丈夫な高さの場所を選んで飛んでみましょう。

### 3 包丁や火を使って料理

時間に追われる毎日ではゆっくり作れないからこそ、パパと一緒に。



**子** 育てに積極的に関わる、といつても帰りが遅い、なかなか休みが取れないなど、職場事情もそれぞれ。関わり方が人によって違うのは、当然です。しかも、パパが子育てに関わるなど、「アウト

ドア」や「スポーツ」をイメージしがちですが、難しく考える必要はありません。身近なことを子どもと一緒にやるだけでも十分。子育てに関わることで時間的な制限ができてしまうと感じるかもしれません。子どもを通じて別の世界を知ることができます。全く違う場面に携わることで、切り替えが上手にできるようになるというメリットも。できる時に、できるコトから始めることが大切です。

### 4 一緒にお手いほうをする

ハサミや針の使い方を一緒に覚えて、ママにプレゼントをつくっても!

### 5 自転車にチャレンジ！

安全に自転車に乗れるように、じっくり練習に付き合って。

取材協力/香川大学教育学部准教授  
松本 博雄氏

## 香川県主催 お父さんの子育て応援事業

子育てを応援する講演会を開催！

子育て中やこれから子育てる男性を応援するための講演会です。入場無料、ご夫婦での参加もOK。講演中の託児(先着25人)もあります。

### 楽家事でいこう！

～パパも主役！ゴキゲン家族～

講師 家事ジャーナリスト・「楽家事ゼミ」主宰 山田 亮氏  
日時 11月23日(日・祝) 午後2時～3時半

会場 さぬき子どもの国 こども劇場

参加申込方法 ホームページから申し込み ※右記記載  
※その他親子で参加できるセミナーも開催予定です。  
詳細はホームページでご確認ください

## あなたも「子育て宣言」してみませんか？

香川県では現在、子育て中の男性からの「子育て宣言」を募集しています。

まずは、子育てに関する「自分の目標」を宣言しましょう！

宣言 月に2回子どもと温泉に行くこと  
宣言 妻が最初に笑う家にする  
宣言 子育て中のお母さんのグチをきくこと

応募期間 平成27年1月25日(日)まで

応募方法 ホームページから応募 お父さんの子育て応援プロジェクト

受賞者特典 抽選で3人に記念品進呈 ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます

検索

# ママ必見! パパを“イクメン”にする

## Point 1

夫婦で  
コミュニケーションをとる

遅くまで働いているパパに、他の人と同じことを求めてもプレッシャーになるだけ。もちろん、どうしてほしいかを伝えることは大切ですが、まずはパパの状況も把握して、コミュニケーションをとることから。



先生からの一言 /

ひとりで“がんばりすぎないのが  
大切です。



子育てにはたくさんの「やるべきこと」があります。子育てを一生懸命がんばっているママは、自分がやっているその役割をパパに求めてしまうことも。楽しいこと以外もやってほしい、と思う気持ちがあるのも当然です。そこで、ふたりが同じ役割をしなくてもいい、と考えると楽になります。子どもと1対1で向き合っていると、余裕を持てなくなります。役割を分担するだけで気持ちが楽になることも。まずは息切れした時にパパが手を差し伸べてくれる。そこから始められたらいいですね。

## Point 2

とにかくパパに  
おまかせしてみる

育児に慣れたママからすれば、パパの行動が危なっかしく感じたり、気になってしまいうもの。パパと遊んでいても、不安で目が離せない…という場合は、思いきって出かけてみるのも手。とにかくパパにおまかせして気分転換してみよう。



いってきます



ガミガミ

## Point 3

失敗しても  
次はうまくいく！

パパが見ている時に子どもがケガをしてしまった! という場合でも、むやみに責めたり怒ったりするのはやめましょう。ママが一緒にいる時にケガする場合もあります。100%完璧ではなくてもいい、という気持ちで。



子育ての  
疑問や不安  
解消

# ワークショップを開催しませんか?

子どもとの関係など、親が抱える子育ての疑問や不安…。それらを解決できるワークショップがあります。ワークショップを進行する家庭教育推進専門員は、同じ子育て中の保護者。参加者からは「楽しかった」「安心した」と好評です。



## 講習を受けた保護者が行う

**学** 校や幼稚園・保育所などを要請を受けた団体に出向き、希望に合わせたワークショップを行います。ワークショップを行う「家庭教育推進専門員(家庭教育ファシリテーター)」は、養成講座を修了し、県教育長から委嘱された保護者です。

「わが家のルール」「わが家のお手伝い」「子どもが話したくなる聞き方」など、約30のテーマが用意されています。難しく考えず、一度実施してみませんか。(対象は乳幼児から中学生の保護者まで)

## メリットは?

- 子育ての「気づき」がある  
保護者同士が話し合うことで、自身の子育てを客観的にどうえられる
- 保護者の悩みや不安を解消できる  
みんなが同じ悩みを持っていることが分かったり、経験者のアドバイスがもらえる
- トラブルの未然防止やPTA活動などが活性化する  
保護者同士が顔を合わせることで、保護者間のトラブルを回避できる
- 新しいネットワークを構築できる  
小グループで活動するため、新たな人間関係づくりのきっかけになる

## ワークショップの流れ

- 1 個人ワーク → 2 グループワーク → 3 全体ワーク・振り返り
- 与えられた子育てのテーマについて自分の意見をまとめる
- 個人ワークの成果を出し合い、意見交換を行う
- それぞれのグループの意見を聞くことを通じて新たな気づきを得る

## 申し込み、費用は?

- 申し込み方法/下記問い合わせ先に電話
- 条件/幼稚園や保育所、学校のほか、スポーツ少年団やこども会など、10人程度のグループから申し込み可能  
実施時間は60分が基本。希望により短縮・延長が可能
- 費用は無料

問い合わせ 香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課  
☎087(832)3773 FAX087(831)1912

## みんな子育て応援団大賞 募集

県健康福祉部子育て支援課では、子育て支援に積極的に取り組む団体や企業、店舗などを表彰する「みんな子育て応援団大賞」を募集します。子育て支援の内容について、地域の実情などに応じた特徴的な取り組みをし、広く県内に波及していくような活動をする団体が対象です。営利目的の取り組みは原則として対象外とします。

**対象** 県内で子育て支援に取り組んでいる団体や事業者  
※過去に応募して、受賞できなかった方も応募可能です。  
(過去の四国新聞社賞受賞者も知事賞の対象として応募できます)

**応募方法** 所定の用紙に必要事項とA4用紙(1~2枚)に具体的な活動内容を記入し同課まで郵送または持参してください。応募用紙はホームページ(<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kosodate/shoshi/>)でダウンロードできます。

**募集締切** 2015年1月16日(金)必着

書面審査の上、審査委員会による審査を行い、知事賞と四国新聞社賞を決定。表彰式は2015年3月に行なうほか、受賞者の活動は四国新聞オアシスで紹介します。

**申し込み・問い合わせは**  
香川県健康福祉部子育て支援課  
〒760-8570 高松市番町4-1-10 ☎087(832)3287 FAX087(806)0207  
四国新聞社  
〒760-8572 高松市中野町15-1 ☎087(833)1180 FAX087(833)8993

香川県保育士  
人材バンクへご  
登録ください。

あなたにピッタ  
リの保育園が見  
つかります。

# 保育園で働きませんか?



## 対象者

- 保育士資格を保有
- 保育園(所)への就職希望
- 看護師資格を保有

求職登録

香川県保育士  
人材バンク

求人登録

県内の市町立保育所  
私立の保育園



香川県保育士人材バンク 香川県社会福祉協議会 ☎087(833)0250  
香川県福祉人材センター 〒760-0017 高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター4階  
ご利用時間/午前9時~午後5時(土・日・祝日除く)、第4土曜日のみ午後1時~5時

## 育児相談から親子の交流まで

## ■地域子育て支援拠点

「地域子育て支援センター」や「つどいの広場」と呼ばれ、乳幼児を中心とした親子が集い、相互に交流や情報交換するほか、子育てに関する相談や関連情報の提供を行っています。

## 専門の相談窓口

## ■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

## ■児童家庭支援センター

児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

## ■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談（子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など）。

県子ども女性相談センター ☎087-862-8861

県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

## ■子育てホットライン

県教育委員会 ☎087-861-4951

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

## ■子どもホットライン

県教育委員会 ☎087-835-7867

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。

## ■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3282

## 子育て情報をチェック！

香川県健康福祉部子育て支援課のホームページでは、子育て相談窓口や児童館の情報などを育てに役立つ情報を提供しています。「みんなトクだね応援団」や「かがわこどもの駅」の加盟店舗の検索も可能。子育てで困ったときに見てみてください。

子育て支援課ホームページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kosodate/shoshi/>

## ＼子育てをしながら働きたい人を支援／

## しごとプラザ高松 マザーズコーナー

しごとプラザ高松 マザーズコーナーは、子育てをしながら働きたい人を支援する専門窓口です。月曜から金曜と第2・4土曜にオープンし、職業紹介・相談はもちろん、保育所や一時預かり施設の情報等、再就職を考える際に役立つ情報を提供しています。

小さな子ども連れやベビーカーの場合もゆっくりと求人を見ることができるよう、ゆったりとしたスペースの確保や絵本の用意も。子育てをしていて「そろそろ働きたいな」と思ったら、マザーズコーナーを訪れてみましょう。

高松市常磐町1-9-1

☎087-834-8609

□午前9時半～午後6時

□土曜(第2・4除く)・日祝、年末年始休み

□契約駐車場あり(駐車料金1時間無料)

保育所では、子どもが病中(発熱など)や病後(回復期)の場合は預かってくれません。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しましょう。県内では小児科医院や保育所に併設する施設が16カ所あり、看護師や保育士が保育に当たります。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

## 【病児・病後児保育実施機関】

(2014年6月1日現在)

施設名	電話番号
香川医療生活協同組合へいわこどもクリニック病児保育はとっぽ(高松市栗林町)	087-835-2065
トビウメ小児科医院付属病児保育室「子どもの家」(高松市伏石町)	087-865-3111
西岡医院病児保育室「レインボーキッズ」(高松市寺井町)	087-885-2863
小林内科小児科医院付属病児保育室「すこやかルーム」(高松市屋島西町)	087-844-8156
はらこども園病後児保育室(高松市牟礼町)	087-845-0234
おかだ小児クリニック病児保育「おひさま」(丸亀市祚原町)	0877-58-0707
総合病院回生病院(坂出市室町)	0877-46-1011
カナン子育てプラザ21「らっこ」(善通寺市生野本町)	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんきになあれ」(善通寺市木徳町)	0877-63-6500
三豊総合病院企業団病児・病後児保育室「わたっこ保育園」(観音寺市豊浜町)	0875-52-6620
さぬき市民病院病児・病後児保育室「コスモス」(さぬき市寒川町)	0879-43-2521
小児科内科三好医院病(後)児保育室「チャイルド・ケアーシステム・エム」(東かがわ市)	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」(土庄町土庄中央病院内)	0879-62-1211
内海病院・病児・病後児保育室「オリーブキッズ」(小豆島町内海病院内)	0879-82-2121
病児・病後児保育「まづばら」(三木町松原病院内)	087-898-0620
綾川町病児保育室「うぐいす」(綾川町国民健康保険総合保健施設えがお内)	087-876-1185

## 夜間・救急診療について

病状が急変することの多い子どものために、休日の指定医療機関や夜間救急医療機関などをあらかじめ確認しておきましょう。受診の際には事前に電話連絡が必要です。

## ●●● 休日や夜間に急な病気で困った場合の電話相談 ●●●

休日や夜間の急病で対応に困ったときは、「#8000」をプッシュすると、看護師への電話相談ができます(必要に応じ医師がサポートする体制です)。

受付時間／毎日午後7時から翌朝8時まで ※プッシュ回線、携帯電話(主要携帯電話会社3社)からの利用が可能。それ以外は☎087-823-1588



## 赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療Netさぬき

<http://www.qq.pref.kagawa.jp/>

qq/men/qqtpmenu.htm.aspx

子どもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>



▲みんなで仲良くドラム缶風呂を経験



▲大人と一緒に炊き出ででカレー作り



こども探検隊

観音寺市立  
一ノ谷小学校

## 被災時 のノウハウ学ぶ 「防災キャンプ」

2012年より、県教委の「地域

一ノ谷小学校では、古くは1951年に5、6年生で組織する「少年消防クラブ」を結成し、年末の夜回りや校内の見回りを行ってきたほか、最近では夏休み恒例の「防災キャンプ」を通じて子どもたち一人一人の防災力や団結力を高めきました。

市内を流れる一の谷川の上流にある一ノ谷池は、過去2回も決壊して大きな被害が生じたことがあります。「過去の経験から、住民共助による自主防災の意識が高い地域。開かれた学校と開かれた地域こそ、災害時の被害を最小限に抑える秘訣」と濱谷敏郎校長は話します。

会場では、香川看護学校のボランティアスタッフらによる健康チェックを受けた子どもたちが、PTAや自治会、一ノ谷スポーツクラブなどの協力を得ながら、段ボールハウスを作りや、空き缶を利用したランプ作り、カレーの炊き出しやドラム缶風呂などを体験。不自由な暮らしの中でも楽しみを見つけ、協力し合うことがいかに大切かということも学びました。また、夜には、いつ襲ってくるのか分からぬ災害にそなえてナイトウォークを実施。グループに

観音寺市北東部、田園風景が広がる緑豊かな環境にある「一ノ谷小学校」。学校の呼びかけで自治会やPTA、「一ノ谷スポーツクラブ」など地域の大人们の協力のもと、日々子どもたちの「防災力」を養っています。

このチカラ創出事業の一環として、1泊2日で避難生活を体験する「防災キャンプ」を実施しています。今も7月に校区の児童や住民、ボランティアら約300人が参加し、小学校の体育館や芝生広場を避難所とした生活を体験しました。

会場では、香川看護学校のボランティアスタッフらによる健康チェックを受けた子どもたちが、PTAや自治会、「一ノ谷スポーツクラブ」などの協力を得ながら、段ボールハウスを作りや、空き缶を利用したランプ作り、カレーの炊き出しやドラム缶風呂などを体験。不自由な暮らしの中でも楽しみを見つけ、協力し合うことがいかに大切かということも学びました。また、夜には、いつ襲ってくるのか分からぬ災害にそなえてナイトウォークを実施。グループに

観音寺市北東部、田園風景が広がる緑豊かな環境にある「一ノ谷小学校」。学校の呼びかけで自治会やPTA、「一ノ谷スポーツクラブ」など地域の大人们の協力のもと、日々子どもたちの「防災力」を養っています。

また、家族以外の大人と一緒に過ごす防災キャンプは、万が一の時にみんなでいることの心強さを知り、地域の絆を深める良い機会にもなっています。お年寄りと交流した子どもは独居老人や高齢者の避難の困難さを理解するようになり、段ボールハウスで寝ている大人がいる時は邪魔にならない過ごし方を工夫するようになります。2年3年と継続して参加している子どもは下級生や初めての参加者に対する責任感が生まれ、的確な指示や手助けができるようになります。

# 学校で避難生活体験

夏休み期間中に「防災キャンプ」実施



▲少年消防クラブの活動風景



e-とぴあ ロボット・ラボ

## サッカーロボットで世界を目指す!

ロボットの設計・製作を通じて、科学への好奇心や探求心を引き出す「ロボット・ラボ」。初級コースは、香川大学工学部の学生ロボット研究所に所属する学生らの指導のもと、自律型ロボットのプログラミングを学ぶと同時に、ロボットサッカー競技に挑戦しています。使用的するロボットは、初心者でも簡単なプログラミングロボット教材「レゴ<sup>®</sup>マインドストーム<sup>®</sup>」。パソコンを使ってアイコンをつなげるようにプログラミングすれば指示通りに動かすことができるので、子どもにとっては遊びの延長。「サッカーロボットのいいところは、ゲーム感覚で楽しみながらプログラミングが勉強できる点。論理的思考能力や問題解決能力も鍛えられます」と施設責任者の樋川直人さんは話します。学んだ成果を発表する機会としてコース修了後は、冬に開催されるロ

ボカップジュニアの県大会にも出場します。これは、赤外線を放つボールをロボットが追いかけ、ゴール数を競うロボットサッカー大会で、ロボット・ラボの先輩の中には日本大会や世界大会に出場した人も。大会で勝ち進むには、プログラムの知識はもちろん、チームワークも不可欠。「コミュニケーション能力やアイデアを相手に伝える表現力も養われます」と樋川さん。

ロボット・ラボは初級コース、中級コースがあり、初級コースは隔週土・日曜午後1時～5時、対象は小学4～6年生、定員14人。ロボットキットとパソコンは1人に1台貸し出し。次回の募集は4月(活動は5～8月・全16回)。

### 問い合わせ

情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)

087(822)0111



▲ロボカップジュニアに参加した中級コースの子どもたち



▲赤外線を発するボールを見つけてゴールを狙うサッカーロボット競技

## pick up

### 新春ことはじめ～家族で初笑い～



毎年恒例の「新春ことはじめ」。今年はテレビ、ラジオでおなじみの落語家・桂こけ枝さんの独演会を開催します。初めて落語を聞く子どもはもちろん、家族みんなで楽しめるひとときです。家族の初笑いをさぬきこどもの国で迎えませんか。

時 1月3日(土)午後1時半～2時半  
※公演1時間前よりこども劇場にて整理券配布

所 こども劇場  
対 どなたでも  
料 無料  
数 200人

出演/落語家:桂こけ枝  
●問い合わせ/さぬきこどもの国 ☎087(879)0500

### 助産師のほっと相談室

妊娠、出産、子育て全般の心配事や疑問に助産師が対応。お母さん同士の情報交換の場としても利用されています。妊婦と、乳児～就園前の子どもとお母さんが対象です。プライバシーに配慮した個別相談も可。予約不要。無料。母子手帳、バスタオル1枚が必要です。

問い合わせはすこやか助産師センター  
☎087(844)4131 (=平日午前10時～午後4時)

会場		開催予定日(※はミニ講座開催日)				
		11月	12月	1月	2月	3月
高松市立長池中央公園管理事務所 (高松市林町2581)	午前9時半～正午 (受付午前11時まで)	11日 (火)	※2 9日 (火)	13日 (火)	10日 (火)	10日 (火)
香川県青年センター (高松市国分寺町国分1009)	午前10時～正午 (受付午前11時まで)	27日 (木)	25日 (木)	22日 (木)	26日 (木)	26日 (木)
さぬきこどもの国 (高松市香南町由佐3209)			27日 (土)		28日 (土)	
イマージュセンター (小豆島町池田2124)	午前10時～正午	28日 (金)	19日 (金)	23日 (金)	27日 (金)	20日 (金)
津田保健センター (さぬき市津田町津田915-1)	午後1時半～4時 (受付午後3時半まで)	※1 14日 (金)	12日 (金)	9日 (金)	13日 (金)	13日 (金) 毎回午後2時からマタニティヨーガあり
ひまわりセンター (丸亀市大手町2-1-7)	午前9時半～正午 (受付午前11時まで)	13日 (木)		8日 (木)		12日 (木)
岡田コミュニティーセンター (丸亀市綾歌町岡田下516-1)			11日 (木)		12日 (木)	
三野町保健センター (三豊市三野町吉津乙2030-1)	午前9時半～正午 (受付午前11時まで)		1日 (月)		2日 (月)	
高室公民館 (観音寺市高屋町884)			毎回午前11時から産後のヨーガあり			
		12日 (水)		14日 (水)		11日 (水) 毎回午前11時から産後のヨーガあり

※1→11/14(金)14:00～15:00 香川大学医学部小児科 加藤育子医師  
※2→12/ 9(火)10:30～11:30 香川大学医学部小児科 加藤育子医師

## イベント

2014 11月～ 2015 3月

※料金の記載がないものは無料

0歳から楽しめる動物たちのオーケストラ。  
所／サンポートホール高松大ホール  
料／全席指定 一般4000円、3歳以下無料(膝  
上のみ)

時 12月13日(土)午後2時開演

問／(公財)高松市文化芸術財団 ☎087  
(825)5010

香川県埋蔵文化財センター  
【もつと知りたい！ 読岐国府  
一発掘現場を見学し、「讀岐国府跡を探  
る6」展示を体験しよう】

時 12月25日(木)  
数 10人程度  
料 100円程度(予定)(保険料)  
問／埋蔵文化財センター ☎0877(48)  
2191

【おはなし会】  
申／往復はがき・電子申請システム  
問／県立ミュージアム学芸課 ☎087  
(822)0247

時 / 第2水曜、第2、4土曜、第3土曜(奇  
数月)、12月9日(火)、3月3日(火)  
所 / 県立図書館  
問 / 県立図書館 ☎087(868)0567

【ペアメンCafe】  
子どもが発達で気になることはありません  
か？いろいろな子育ての悩みを話したり、  
情報交換をしてみませんか？  
時 / 3月8日(日)午前10時～正午  
所 / 研修室  
申／詳しく述べHPを確認  
問／さぬきこどもの国  
☎087(879)0500  
<http://www.sanuki.or.jp/>

【こどもの国クリスマスマーケット】  
クリスマスがもっと樂しみになるマーケット。チ  
ケットを集めて家族みんなで遊びに行こう！  
時 / 12月23日(火・祝)午前10時～午後4時  
※工房でのチケット配布は12月2日(火)  
当日午後3時半まで  
所 / こども劇場

【親子で楽しもう～ファミリー♪ハサ】  
子どもたちに人気の曲やクラシックなどのコ  
ンサートです。  
時 / 2月22日(日)①午前11時～11時  
50分  
所 / こども劇場  
申／大人10人※子ども同席可  
受 / 事前申込み(2月6日(金))>

さぬきこどもの国と四国学院大学の学生がコ  
ラボして親子遊びの広場を開催します。  
時 / 12月6日(土)①午前11時～②午後2  
時～※各回30分前より整理券配布  
所 / こども劇場  
数 / 各200人

【ペアメンCafe】  
②午後2時～2時50分※各回1時間前よ  
り、こども劇場前にて参加整理券を配布  
所 / こども劇場  
数 / 各200人

ズーラシアノイルハーモニー管弦楽団

香川県立ミュージアム  
特別展「第61回 日本伝統工芸展」関

さぬきこどもの国と四国学院大学の学生がコ  
ラボして親子遊びの広場を開催します。  
時 / 12月6日(土)①午前11時～②午後2  
時～※各回30分前より整理券配布

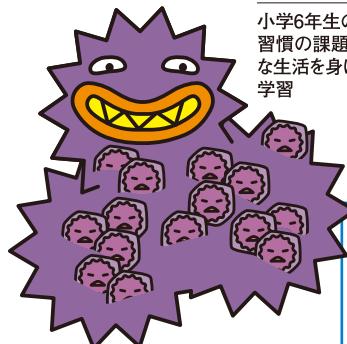
②午後2時～2時50分※各回1時間前よ  
り、こども劇場前にて参加整理券を配布  
所 / こども劇場  
数 / 各200人

【ペアメンCafe】  
子どもが発達で気になることはありません  
か？いろいろな子育ての悩みを話したり、  
情報交換をしてみませんか？  
時 / 3月8日(日)午前10時～正午  
所 / 研修室  
申／子どもの発達に何らかの不安を感じ  
ている保護者  
対 / 子どもの発達に何らかの不安を感じ  
ている保護者  
数 / 大人10人※子ども同席可  
受 / 事前申込み(2月6日(金))>



### スライドショー

小学6年生の授業では生活習慣の課題を見つけ、健康な生活を身につけられるよう学習



▲がんのなりたちを教えるオリジナルキャラクターも登場

正しい知識を持って  
不安を減らす

# 子どもへの がん教育が スタート

取材協力/香川県健康福祉部健康福祉総務課  
がん糖尿病対策・健康づくりグループ

1977年以降、「がん」は香川県民の死亡原因の第1位。香川では2011年10月に「がん対策推進条例」が制定され、子どもへのがん教育が進められています。がんに特化した教育は全国的に珍しく、昨年度からモデル校を中心に授業が始まっています。

## 目的

がんの正しい情報を知ることで、①いたずらに怖がらない②生活習慣など予防につながる知識を持つ③患者への思いやりの心を持つ—ことなどが目的です。家族でがんについて話すきっかけとなったり、保護者ががん検診受診率向上につながることなども期待されています。

- がんは身近な病気であること、がんの発生と原因を科学的に理解する
- 生活習慣との関連やその他の原因を理解し、がんを予防する生活習慣を学ぶ
- 早期発見の大切さ、保健・医療制度を知る
- がんの予防や治療、療養生活を支えるさまざまな仕事の役割を知る
- 患者の心や体の変化を理解し、自分や家族が患者となった場合の対応を学ぶ

## 内容

がんを取り巻く現状や原因、予防、治療方法、さらに患者や家族の心理など、「がん」という病気に関するさまざまな内容を取り上げます。小学3、6年生、中学3年生、高校2年生を対象に、1時間の授業が行われ、年齢に合わせて知識を積み上げていけるよう計画されています。○×クイズなど、子どもたちが積極的に参加できる工夫もいっぱい。



▲高松市立木太小学校でのモデル授業



### 紙芝居

小学3年生は「がん」という疾患を通して健康の大切さを学ぶ



香川県がん征圧キャラクター「ソウキくん」

人形劇のテーマパーク

# とらまるパペツトランド



東かがわ市の虎丸山の麓に位置する「とらまる公園」にある施設「とらまるパペツトランド」。人形劇場、ミュージアム、児遊館があり、人形劇の世界を多角的に楽しめます。



## 人形劇場とらまる座

1992年に開館した人形劇場。

専門の劇場。全国のプロの人形劇団が年間100回以上の公演を行っています。座席は245席あり、大人向けの人形劇など新しい企画も実施。ロビーにも多数の人形を飾っています。

### とらまる人形劇 ミュージアム

### 人形劇の体感型博物館

現代人形劇の博物館としては国内唯一の体験型施設。人形劇で実際に使った人形を動かしたり、ワークショップコーナーで人形を作ったり、人形美術について学んだりできます。テレビ人形劇の人形や、海外の人形など美術品としての価値が高いものも多数。

### ミニチュア児遊館 空想の世界を探検

中世ヨーロッパの街並みを、实物の約2分の1サイズで再現。探検気分で巡つたり、家具やままで道具で自由に遊べます。2階のプレイルームでは絵本やおもちゃ、紙芝居でゆったりと遊べます。



とらまる座、人形劇ミュージアム各600円、ミニチュア児遊館250円。セット割引あり。なお人形劇公演日、休館日については下記まで問い合わせを。1月2日からはお正月イベントを開催します。

東かがわ市西村1155  
☎0879(25)0055  
午前10時～午後5時 不定期  
<http://www.toramaru.jp>

# 子育てそばくわ

## 上級問題

香川県小児科医会 平場一美

9月頃から子どもの肌が力サカサになつてきました。お風呂や寝る時にボリボリかいて困ります。市販のローションを塗っていますがよくなりません。どうすればいいのでしょうか。他にできることはないのでしょうか?



秋になると皮膚の力サカサが気になります。「これからもっと寒くなると静電気が発生しやすくなり、かゆみの原因となります。生まれてすぐの赤ちゃんから年配の方まで、年齢に関係なく適切なケアが必要です。正しいスキンケアを行い、快適に過ごしましよう。

赤ちゃんや子どもの肌はつるつるべすべしていると思われる方が多いでしょう。でも実際は未熟で刺激に弱く、湿疹ができやすいのです。また、皮膚の状態には個人差があり、生まれつきバリア機能異常をもつ人もいます。

アトピー性皮膚炎の予防のためにバリア機能を高めることはとても重要になります。

皆さんは小麦の入ったせっけんを使

炎発症の研究報告がありました。生

後1週間から8ヶ月間、毎日全身に保湿剤を塗った赤ちゃんは、塗らなかつた赤ちゃんよりもアトピー性皮膚炎の発症が3割少なかったのです。正しいスキンケアとは、皮膚を清潔にし、十分に保湿してバリア機能を高めることです。それが私たちの健康を守ることにつながります。

### 入浴方法を見直し 保湿を心がける

スキンケアでまず一番に浮かぶのがお風呂です。まず、入浴時お湯の温度は低めにし、温めすぎないように心がけましょう。かゆみが強い時は、シャワーだけの方がよいでしょう。温かさが持続するタイプの入浴剤は、かゆみを誘う原因になるので好ましくありません。

うことで小麦アレルギーになった二つ目を覚えているでしょうか。この問題はアレルギーの認識を大きく変えました。アレルギーは皮膚から食物が侵入し、起ることもあるということがはっきり分かつたのです。この反応はバリア機能が弱い人ほど起こりやすいと考えられています。

次に皮膚の洗い方です。**①**せっけんをよく泡立てた泡で**②**指の腹を使つてなでるように洗いこすらない**③**頭から洗い、シャンプーやリンスを皮膚に残さない**④**湿疹があつても同じように泡でやさしく洗い**⑤**低めの温度の湯で洗い流す—が基本です。

体を洗った後は、肌触りのよい軟らかいタオルで押さえるように拭き取り、すぐに保湿剤を塗ります。

汗をかくことはいいことですが、子どもの場合多くはかゆみの原因となります。子どもは夜寝ている間も汗をかきます。朝起きてすぐと、汗をかいた後は早めにシャワーで流しましょ。シャワーができるときは濡れたタオルでそつと押さえるように汗を拭き取りましょう。

# 異世代で触れ合い、汗を流す運動会

## 地域との交流を通して 心豊かな子どもに

こども探検隊  
ふたば西保育園  
丸亀市

丸亀市中心市街に位置し、周囲を商店街に囲まれた「ふたば西保育園」。「子どもが今を最もよく生き、未来をつくり出す力の基礎をつける」を保育目標に、0～5歳児が元気に生活を送っています。

### 運動会に小学生が飛び入り参加

毎

年10月に行う運動会は、地域の大人や小学生、卒園児など

が集まる一大イベント。もともとは園だけで実施していましたが、卒園児に声を掛けたのがきっかけで、今では地域の人も集まるにぎやかな運動会に。今年も園児101人、地域の人や保護者など約200人が参加し、園から歩いてすぐの「みなど公園」で一緒に汗を流しました。

プログラムには園児だけで行う二ーカなのが、園児と小学生が即席でチーム分けをして行う綱引きや玉入れ。異年齢児が互いに声を掛け、助け合いながら、即席とは思えない

チームプレーで競技に臨みます。やり終えた後は達成感でいっぱい。みんなイキイキとしています。

「この辺りは昔から営業している商店が多く、お年寄りも多い」とは吉村真樹園長。「丸亀城に散歩に行く際、商店街を歩くのですが、これまで尻込みをして、なかなか自分からあいさつができるなかった子も、交流を機に自発的にできるようになった」といいます。地域の人からも「子どもたちを見るだけで元気がもらえる」という声も聞かれ、お互に良好な関係が築かれています。

### お年寄り宅を訪問 歌や手紙をプレゼント

2004年度から毎年9月に実施しているのが「お年寄り慰問」です。交流は他にも行っています。

今年は4、5歳児30人が商店街や園周辺でお年寄りがいる家庭や店、近くの厚仁病院デイケアセンターなど32軒を訪問。自分たちで飾り付けした小物入れと、「いつまでもおげんきでいてください」とメッセージを書いた手紙を渡しました。デイケアセンターでは一緒に手遊びをしたり、歌を歌うなどの交流も。普段、子どもと触れ合う機会が少ないお年寄りも多く、「今年も来てくれた」と楽しみにしているそう。子どもたちも地域の人と触れ合うことで、思いやりのある心豊かな子に成長するとともに、人に対する信頼感や協調性などを学んでいます。

毎年12月には「キャロリング」を実施。白いケープにワンポイントの赤いポインセチアを受けた園児が、同じく園周辺のお年寄り家庭や店を訪問し、プレゼントを渡したり、「きよしこの夜」と「もうびとこぞりて」の歌を披露します。園児たちは交流を通して、人との関わり方を学び、すくすくと成長しています。



▲園児と小学生の混合チームで綱引き。「オーエス、オーエス」と掛け声が響きます



▲「キャロリング」では、商店街の中にある呉服屋さんで贅美歌を披露しました



▲地域の老人宅や厚仁病院デイケアセンターを訪問。今は約100人もの人と交流しました



▲頭上のカゴをめがけてみんなで玉入れ

# 地域の施設を清掃し 思いやりの心育てる

こども探検隊

弦打幼稚園  
高松市



▲地域の見どころを巡る「ウォーカラリー」。異年齢の子や保護者との交流も深まります

弦打幼稚園（園児数74人）は、小学校や保育所、コミュニティセンターが1カ所に集中する立地を生かし、相互に関わり協力しながら子育てをしている。「このほど、年長児がコミュニティセンターの掃除を行いました。

高

松市立の幼稚園が取り組む掃除教育の一環で、月に1回

「ぴかぴかデー」を実施している弦打幼稚園。掃除の仕方を保護者や地域の人から学んだり、地域の施設を掃除したりといった活動を通して、

思いやりの心や社会性を育てています。

10月のぴかぴかデーでは、年長児



▶力いっぱい雑巾絞り。「地域やおうちの人へ教えてもらったから、上手にできるよ」



▶雑巾がけレースみんなでよいどん!」。きれいになった床は気持ちいいね

19人が園のすぐ近くにある弦打コミュニティセンターのホールを清掃。今年春には年長児が作成した大きなこいのぼりの絵を飾った縁もあることから「ありがとうおそうじ」と名付け、ほうきでの掃き掃除と雑巾がけを行いました。

ほうきを使った清掃は慣れた様子の園児たち。「こっちにもごみがあるよ」と互いに声を掛けながら取り組みました。拭き掃除では、以前のぴかぴかデーで教わった雑巾の絞り方を実践。力いっぱい絞った雑巾でホールの隅々まできれいにしましています。

## 「ウォーカラリーなどで 「見守られている」実感

地域住民の協力により、ウォーカラリーや田植え、茶会、七夕などの行事を積極的に行ってています。年に1度のウォーカラリーは、異年齢でグループを作り、親子で地域内の古墳や神社を巡るイベント。普段見慣れた風景や自然についての新しい発見や、地域の人との出会いなど、わくわくすることがたくさんあります。地域に見守られていると実感し、地域の一員として役に立つ喜びを感じることが、「自尊感情」や

た。森安朋子園長は「自分たちが描いた絵が飾られ、多くの人に見てもうったことは、園児にとってうれしい出来事でした。感謝の気持ちを表わすことができて良かったです」と話しています。

10月のぴかぴかデーでは、年長児19人が園のすぐ近くにある弦打コミュニティセンターのホールを清掃。今年春には年長児が作成した大きなこいのぼりの絵を飾った縁もあることから「ありがとうおそうじ」と名付け、ほうきでの掃き掃除と雑巾がけを行いました。

ほうきを使った清掃は慣れた様子の園児たち。「こっちにもごみがあるよ」と互いに声を掛けながら取り組みました。拭き掃除では、以前のぴかぴかデーで教わった雑巾の絞り方を実践。力いっぱい絞った雑巾でホールの隅々まできれいにしましています。